

昭和化工株式会社

酒石酸、クエン酸などの 化学品で圧倒的強み

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



大阪府吹田市の本社社屋

主な事業内容

有機酸、無機薬品、
有機合成などの開発・製造・販売

主な取引先(納入先)

飲食産業、半導体、
医薬品中間体などあらゆる産業

主な製品

クエン酸、酒石酸、乳酸、健康食品、
無機錫化合物、機能製材料、試薬など

業務 内容

**有機酸、無機合成品、
有機合成品が三本柱**

昭和化工は、化学品を幅広く展開するメーカー。大きな柱は三つ。一つ目が、抽出技術を活用して生産する酒石酸・クエン酸などの有機酸類。二つ目が、精製と溶解技術を活用して生成する錫化合物などの無機薬品。そして、三つ目が、化学反応を活用して機能性薬品を生産する有機合成品である。

創業は大正7年。現社長・小椋浩之介氏の大祖父・祖父が起業し、元々は試薬向けの新規物を製造・販売していた。塩化第二鉄や吐酒石など、国内初の工業化を果たした製品は数多い。

強み
**必要な時に必要なものを
必要なだけ作る**

同社の強みは、工業生産でありながら、お客様の要望にあった品質のものを生産できることである。例えば、一概にクエン酸製品といっても、お客様が要望する品質や梱包形態は多種多様であるが、それらを国内生産によりきめ細やかに対応することができる。酒石酸でも、硫酸値が高い海外品でお困りのお客様には、きわめて低濃度の製品を供給することができる。汎用

社長あいさつ



代表取締役社長
小椋 浩之介さん

当社は、大正7年の創業以来、化学工業一筋にあらゆる産業に数々の化学品を提供してまいりました。これからもこの100年以上の経験と伝統を踏まえつつ、時代の変化とニーズを的確に捉えて、社会の求める化学品を提供し続けていきたいと考えています。

主な保有設備

- 反応器 38台
- 遠心分離機 CO-36ほか
タナベウィルテック製ほか 8台
- 精留塔 5台
- 超純水製造装置 1台
- クリーンルーム 1室



ISO 9001 ISO 14001
ISO 22000

住 所／〒564-0054
吹田市
芳野町18-23
T E L／06-6384-1501
F A X／06-6384-2287
創 業／大正7年4月
設 立／昭和16年8月
資本金／1億円
従業員／171名

元献 地貢

**環境保全へ
敷地内の緑化も進める**

品でありながらニッチな用途で活用いただけるものを作り続けること。その積み重ねが強みとなっている。この積み重ねには、フロントラインだけでなく、全役職員がお客様の声に誠実であり続けなければならない。「最終的にどんな製品に使われているかをリスト化して、それを社員に見せるようにし、士気を高める工夫をしている」と、小椋社長は職場づくりの極意を語る。

今後の課題は海外市場の開拓。新興国を中心に、少子高齢化は加速しており、流動食の需要が大きいと見ています。すでにインドとブラジルに現地法人を持っており、19%ほどの海外売上比率を35%程度に引き上げるのが当面の目標。

また、環境保全と地域貢献にも注力する方針だ。本社社屋の屋上を緑化したのもその一環。「本社の敷地をすべて緑で囲み、敷地内での地域交流会などを開いて、地元と長年の恩返しをしたい」というのが、小椋社長の夢である。



ワイン搾りかすを精製し、酒石酸に



本社社屋の屋上緑地



<http://www.showakako.co.jp/>